

「自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成事業」

1. 趣旨

ボランティア養成セミナーの受講者向けのスキルアップ講習として、楽しく安全に活動を指導するための自然体験活動指導者（NEALリーダー）を養成する。

2. 事業の概要

(1) 期日

令和4年6月25日（土）～6月26日（日）【1泊2日】

(2) 参加者

- ①参加対象 ボランティア養成セミナー受講者
- ②参加人数 21名（申込27名、キャンセル6名）
- ③参加者の内訳 高校生1名、大学生11名、社会人9名（職員4名）
- ④修了者数 21名

3. 企画運営のポイント

- ①ボランティア養成セミナー直後で、ボランティア活動や自然体験活動への活動意欲に溢れている時期に開催することで、参加者の確保を図った。
- ②ボランティア養成セミナーからのスキルアップという位置づけで、指導者として必要な知識や技能を座学だけではなく、実践を通して学べるようにした。
- ③実習や実技において、参加者同士で話し合ったり、関わったりし、交流を深め、相互学習する時間を意図的に設けた。
- ④新型コロナウイルス感染症対策として、受付時・就寝前・起床時の検温、手洗い、マスクの着用など、基本的な感染症対策の徹底を図り、安心して研修に取り組める環境とした。

4. 日程

	午前	午後	夜
6月25日 (土)	開講式 【説明】「NEAL制度ガイダンス」 主任講師：福岡公平 【実技】「自然体験活動の技術」 講師：赤城職員 福岡公平・ 竹内正則	【講義】「対象者理解」 講師：群馬大学准教授 大島みずき 【講義・演習】「自然体験活動の指導」 講師：大東文化大学 教授 中村正雄	【実技】「自然体験活動の技術」 講師：菅原遊
6月26日 (日)	【講義・演習】「自然体験活動の特質」 講師：菅原遊	【説明】「NEAL制度ガイダンス」 主任講師：福岡公平 【認定試験】 閉講式	

5. 主な活動内容



「自然体験活動の技術」



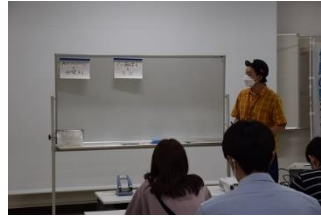
「対象者理解」



「自然体験活動の指導」



「自然体験活動の技術」



「自然体験活動の特質」



6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

事業全体：満足 20 名（95%）、やや満足 1 名（5%）

(2) 参加者の声

- ・今回の講習を通して、自然との関わり方を実践を通して学んだ。自然は様々な場所にあり、様々な活動があった。保育士を目指しているため、子供との関わりの中で、自然体験活動をたくさん取り入れ、一人一人に合った対応をしていきたい。
- ・前回のボランティア養成セミナーでは、参加者としての意識しかなかったが、今回は、指導者としての立場を経験することが多々あり、そのことで、違う視点から自然体験活動について考えることができた。

(3) 成果

- ① 高校生から社会人まで、多様な所属からなる参加者が集まった。ボランティア養成セミナー実施後に、そのスキルアップ講習としての位置づけで実施することの成果が得られた。また、各科目終了後、参加者同士が講義を振り返りながら話し合う時間を意図的に取り入れることで、相互に学び合う姿勢が見られた。
- ② NEAL 演習生 3 名がスタッフとして携わった。運営としての役割だけに留まらず、NEAL 有資格者の先輩として、参加者と積極的にコミュニケーションをとっていた。このことで、参加者たちが、具体的に指導者像を描くことができた。

(4) 課題

- ① 参加者から、持ち物の詳細が知りたかった旨の感想が聞かれた。屋外での実習が予定され、野外活動に適した服装を持参するよう二次案内には記載しているが、今後は、実習・実技内容の詳細明記や、虫よけ、帽子といった野外活動に適した細かな物品の明記など、自然体験活動に不慣れな参加者も多く参加することを想定した案内をする必要がある。
- ② NEAL 事業については専門性の高い講師陣を迎える必要がある。今回の講師は昨年度と同様の講師陣であり、参加者から非常に高い満足度を得ることができた。これまでの講師に囚われることなく、講師候補者のリストアップを行い、質の高い事業実施に努める必要がある。

担当：福岡公平、竹内正則